



## 日南町で育む 非認知能力 行動指標

日南町では現在、園・小・中一貫教育の柱として、数値では測りにくい力

「非認知能力（やり抜く力、思いやりなど）」の育成に力を入れています。

5月11日からスタートします個人懇談では、この指標に基づき、保護者・職員が共に目標を掲げ、一緒に取り組んでいきたいと考えています。

ご家庭と園、そして小学校、中学校が手を取り合って、子どもたちの未来を大きく広げていきたいと思えます。

次(園) 訓	【カテゴリー】 付けたい力	こども園	小学校一低学年
1. 見つけよ自己を	(1)【自己決定力】 自分で判断し、自分で決める力	遊びや活動の中でやりたい、やってみたいと自分で選ぶことができる。	好き嫌いや自分の損得など自己中心な視点だけでなく、ルールなどの様々な視点で、行動を決めることができる。
	(2)【自制心】 感情や衝動をコントロールする力	自分の気持ちを調整し、友達にも気持ちがあることに気づき、折り合いをつけようとする。	ルールを守り、すぐにやりたい、言いたいという衝動を抑え、状況に応じた適切な行動ができる。
	(3)【メタ認知・自己効力感】 自分を信じる力	初めてのことに挑戦し、失敗したことを再度やることで「自分はやればできる」と信じられる。	他者からの評価を通して、「自分はできる」と感じることができる。
2. 求めよ友を	(1)【コミュニケーション力】 自分の思いや考えを発信する力	あいさつが自発的にでき、自分の気づいたことや自分の気持ちを言葉で伝えることができる。	自分の考えや気持ちを理由とともに言葉で伝えることができる。
	(2)【コミュニケーション力】 相手の気持ちや立場を理解し、相手のことを認める力	相手の顔や目を見て、正しい姿勢で最後まで話しを聞くことができる。	相手の発言を最後まで聞き、受け入れることができる。
	(3)【協働性】 いろいろな人と目標達成のために協力する力	自分のアイデアを提案したり、友達のアイデアを受け入れたりすることができる。	いろいろな友だちと協力しながら、自分の役割を果たそうと努力することができる。
3. 惜しむな汗を	(1)【挑戦する力】 失敗を恐れず、やってみようとする力	失敗を恐れず、試行錯誤しながら難しいことでも「やってみよう」とチャレンジすることができる。	自ら進んで学習や活動に参加し、失敗を恐れず発言したり、行動したりすることができる。
	(2)【忍耐力】 困難なことでも粘り強く取り組む力	自分の思い通りにいかなくても目標に向かい続けることができる。	一度でうまくいかなくても、ねばり強く、何度も取り組むことができる。
	(3)【問題解決能力】 自分自身で考え、創意工夫する力	疑問や不思議を言葉や行動で明確にし、複数の解決策を試そうとすることができる。	日常生活や学習の中で疑問や問題点に気づき、自分で解決方法を考えようすることができる。

## 失敗は未来の種まき



## 恐るべし「非認知能力」…巻

- 【日南町の教育目標】⇒ ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する
- 【日南町園小中一貫教育研究主題】⇒ 園小中一貫教育を支える「非認知能力」の育成～主体的で、対話のある学び（活動）の創造～

日南町では、このような目標、研究主題に向けて園小中教職員が年間数回集まって取り組みを確認、展開しております。幼児期から少し早いのではないかとと思われる方もあるかと思えます。しかし非認知能力（忍耐力、自制心、やり抜く力、協調性など）が最も大きく伸び、そのあとの人生に強い影響を与える時期は一般的に乳幼児期（0～6歳頃）、特に「3歳まで」が黄金期と言われています。この時期は脳の発達も著しく、環境からの影響を最も受けやすい感受性の高い時期です。

**愛着形成：**0～2歳頃に保護者との信頼関係を築くことで、「自分は愛されている」「世界は安全だ」という安心感が育ち、それが好奇心や自己肯定感の土台になります。  
**遊びを通じた学び：**3～6歳頃、集団の中での遊びを通じて、感情のコントロール（自制心）や他者との協力（協調性）が爆発的に発達します。

これから個人懇談の時期を迎えます。今年度はコドモンでも既にお知らせしておりますが、この個人懇談の際に、「日南町で育む非認知能力・行動指標」の中から1年間の目標を確認し、一緒に取り組んでいきたいと思えます。是非今からご家族で話題に出していただければ幸いです。